

★チャレンジ！夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

計算力に課題が・・・

2年生と5・6年生は5月23日（木）に、3・4年生は5月27日（月）に第1回全校算数テストを行いました。各学年の家庭学習ノートを見ると、計算練習に力を入れて取り組んでいる子どもがたくさんいました。

4月18日（木）に行った令和6年度全国学力・学習状況調査では、「 $540 \div 0.6$ 」を計算する問題が出題されました。これは、除数(割り算における割る方の数)が小数である場合の除法(割り算)の計算をすることができるかどうかを問う問題で、第5学年で学習する内容です。本校の正答率は33%でした。この問題を解くためには、例えば、540を10倍して5400、除数の0.6を10倍して6とし、「 $540 \div 0.6$ 」を「 $5400 \div 6$ 」として計算することになります。正解は「900」です。ところが、除数の0.6のみを10倍して整数にし、「 $540 \div 6$ 」として計算している子どもが何人かいました。もちろん不正解です。

小学校の算数は、高学年になると次々と難しい内容が入ってきます。その中で、つまずきが多くみられるのが「小数と分数」です。私は中学校の学級担任を長く務めていましたが、小学校段階で学ぶ「小数と分数」の計算ができないために、中学校の数学の授業内容を理解できず、高校入試の際に難儀した生徒を何人もみてきました。高校入試では、計算力がなければ点数は取れません。では、どうすればいいのでしょうか。

保護者としてできることとして、我が子がどこでつまずいているかを子どもと一緒に把握することを提案します。そこで活用できるのが、秋田県教育委員会で作成した「わか杉学びネット」です。インターネットで検索すると右のような画面が出てきます。「小・中学生はこちら」のリンクをクリックすると、「学年別の学習教材一覧」が出てきます。そこにある各学年のリンクをクリックすると、各教科の問題と解答が出てきます。これを家庭学習等で活用することで、つまずきの状態を把握することができると思います。ぜひ、御活用ください。